

## 第7回ガールズラグビーフェスティバル報告書

平成25年12月7日(土)

大会実行委員長 並木富士子

1. 開催日 平成25年11月30日(土)
2. 場所 埼玉県熊谷ラグビー場 B・Cグラウンド
3. 主催 関東ラグビーフットボール協会
4. 主管 関東ラグビーフットボール協会 女子委員会
5. 後援 埼玉県ラグビーフットボール協会
6. 協賛 株式会社 富士住建
7. 大会ドクター 小林正幸先生、一番ヶ瀬先生
8. 参加チーム数 チーム(資料1参照)
9. 申込者数 405人(参加者数385人、欠席者20名)  
小学生323人(1年生26人、2年生47人、3年生57人、4年生60人、  
5年生70人、6年生63人)  
中学生82人(1年生28人、2年生36人、3年生18人)
10. 大会スタッフ:45人  
関東・東京ラグビー協会女子委員会 6名、  
日本体育大学ラグビー部女子 16名                      R u g i r l - 7 7名  
世田谷レディース 4名                                      レッドアローズ 2名  
立正アルカスクイーンRFC 4名                          江戸川区レディース 2名  
リバティフィールズ 2名                                      TKM 2名

### 11. 当日の様子・まとめ

大会当日は、お天気にも恵まれればかばか陽気の中、予定通りの試合とイベントを実施することが出来ました。開催日は熊谷ラグビー場(Aグラウンド)でもトップリーグ2試合が実施されており、練習場から試合会場までの全てが賑やかな雰囲気になっておりました。今回開催日が重なったことにより結果、トップリーグ関係者や観戦者の方々にもこの大会を知ってもらうことができ、女子ラグビーのPRにも多少繋がったのではないかと思います。

ここ数年、都県の合同チームでの参加が増え、今回は、東京、神奈川、千葉、群馬、山梨、長野、新潟が合同チームでの参加がございました。月2から4回の合同練習をしているので、チームのまとまりとレベルアップにも繋がっております。

第1回目から今大会まで連続参加している4名の選手は中学3年生になり、「この大会は卒業ですが、高校へ行ってもラグビーを続けます」と話してくれました。今まで、途中でラグビーを辞めてしまう選手が多い中で、このようにラグビーを続けている背景には、都県での女子合同練習会、女子高校生の活動の場やガールズ大会の増加、ユースチームの存在が大きいと思います。今大会、高学年のレフリーを担当した群馬県の高校生は、小学5年生から中学生までこの大会に参加してくれた女子選手でした。

7回目を迎えた今大会は、大会運営女子スタッフ、参加チーム・選手も慣れてきて、大会に携わっている皆で大会を運営しているように、仲も深まり楽しい大会になってきたと思います。試合をするだけの大会ではなくて、女子ラグビーに係わる全ての方との繋がりを深めることができる大会になるように今後とも続けていきたいと思っております。

今大会の運営委員長として、いくつか反省点もございますので、今回の教訓を今後の大会に活かしていきたいと思っております。

最後になりましたが、大会を開催するにあたりまして、皆様の多大なるご支援とご協力をありがとうございました。

## 12. 大会の様様 (写真)

### ①開会式後の集合写真



### ②試合の様子







②お友だちカード作成



③体力測定



④ビッグディフェンス賞授与



⑤トップリーグ女子ラグビーPRイベント

